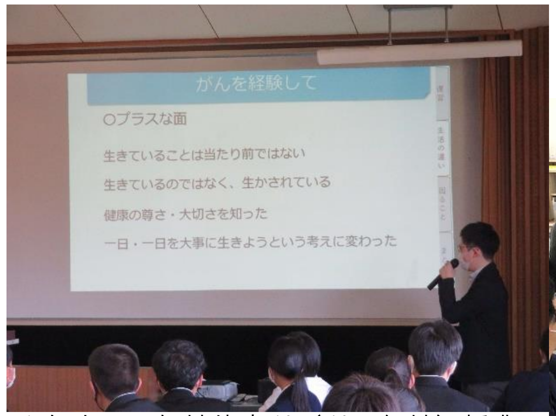
令和2年度島根県がん教育研修会

日　時：令和2年12月3日（木）13:30～16:30
場　所：浜田教育センター、益田合同庁舎、出雲保健所、島根県職員会館　他
対象者：西部地区所在の県立学校及び特別支援学校、浜田・益田教育事務所管内中学校の保健体育科担当者
松江・出雲地区の高等学校及び特別支援学校、松江・出雲・隠岐教育事務所管内の中学校の保健体育科担当者で希望者
教育事務所、教育委員会担当者
受講者：１３１名（島根県がん教育外部講師フォローアップ研修の受講者を含む）

モデル校による実践発表

県立益田高等学校

『保健体育科：科目（保健）』を中心に、「がんについて正しい理解を身につけ、共に生きる社会づくりを考える」というテーマでがん教育を実践



１年生での保健体育科（科目保健）授業
（外部講師を活用した授業）

２年生での保健体育科（科目保健）授業

モデル校による実践発表について受講者の感想

○がん教育について具体的にどんな授業をしたらいいのかわからなかったけど、イメージが持てた。
○教科横断的な取組は参考になった。保健体育科にあわせ学活、道徳などとの関連を図っていきたいと思う。
○外部講師を活用した授業展開やポスターを作成することでインプットしたものをアウトプットさせるという活動は、非常に参考になった。
○外部講師の活用時の講師との連携や、生徒、保護者への配慮など、準備段階での取組や注意すべき点など非常に参考になった。
○全教職員で具体に取り組むヒントがあり、早速職員に伝達し、来年度に向けていきたいと思う。
○学習内容についてとても参考になった。また、配慮することの大切さを改めて感じた。自校の取組に生かすことのできる内容が多くあり、大変勉強になった。

江津市立桜江中学校

「がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考える生徒の育成」というテーマで、教科横断的ながん教育を実践

学校保健委員会の様子
（外部講師を活用した講演会）

公開授業の様子

講演会

「学校におけるがん教育の考え方・進め方」　講師：聖心女子大学現代教養学部教授・副学長　植田誠治氏

植田誠治先生は、聖心女子大学でご勤務されている傍ら、小学校・高等学校の学習指導要領体育編の作成にも携わられ、また、文部科学省「がん教育検討委員会」委員も歴任されております。がん教育推進のために、数多くの研修会で講演し、活躍されています。

講演の中で植田先生から、がん教育の必要性や新学習指導要領におけるがん教育の位置付け、文部科学省が作成しているがん教育プログラム等について、丁寧にわかりやすく講話していただきました。学校でのがん教育を進めるにあたり、意義や考え方について理解を深める機会になりました。

講演会について受講者の感想

○新学習指導要領の実施の中でがん教育の考え方・進め方を植田先生の講演を基底にして行っていこうと思う。
○改めて新学習指導要領におけるがん教育の扱いについて整理することができた。
○がん教育の必要性、重要性を改めて理解を深めることができた。授業の内容等を今日の講演を参考に考え直していきたい。
○がん教育プログラムの補助教材を有効に活用して、がんについての正しい知識、理解を進めていきたい。
○様々な教材や資料が準備されていることを知り、授業でいかに活用していくとよいか研究を深めなければと感じた。
○がん教育について新たに知ることがたくさんあった。生徒にがんに対する正しい知識を伝えることが重要であり、まずは自分自身ががんについて学んでいく必要性を感じた。